

もみじ園案内図



1 ソメイヨシノ

苗木を東京から取り寄せ、雪国でも育つかどうか試験的に植えたものである。今も春には見事な花が咲いている。



2 イロハモミジ

京都から取り寄せた5種類のもみじが植えられている。メインは、園中央と山荘脇のイロハモミジである。



3 巴ヶ丘山荘

建築部材などから、明治29年から30年頃にかけて建築されたものと推察されている。2015年に国登録有形文化財に登録された。



4 石臼

金鉱石を砕くための石臼。佐渡金山から金を運搬する際に、船のバランスを保つための重石として用いられた。



5 観音像

設立当初のものは戦時中に供出されてしまい、台座だけが残っている。現在設置されている像は、第三代越路町長から寄贈されたものである。



6 庭石

新潟県では産出が確認されていない石であり、岐阜県あたりから輸送されてきたものではないかと推測される。



もみじ園概要

平成元年11月にオープンしたもみじ園は、平成27年に国登録有形文化財に指定された。

高橋家の別荘として利用されていたものが当時の越路町へ寄贈され、現在に至っている。

敷地：4,000 m²

建物：明治29年頃建築 木造平屋建て

庭園：日本庭園

樹木：約400本（樹齢150年以上多数あり）

